

第三者評価結果の公表事項(乳児院)

①第三者評価機関名

社会福祉法人 山口県社会福祉協議会

②評価調査者研修修了番号

SK2021226、SK2021232、SK2021234、SK2021227

③施設の情報

名称：乳児院 なかべ学院		種別：乳児院
代表者氏名：竹川 智子		定員（利用人数）： 30 名（26 名）
所在地： 山口県下関市古屋町 1 丁目 2 番 5 6 号		
TEL：083-250-8701		ホームページ： https://nakabe-gakuin.org
【施設の概要】		
開設年月日 昭和 2 6 年 4 月 1 日		
経営法人・設置主体（法人名等）：社会福祉法人中部少年学院		
職員数	常勤職員： 47 名	非常勤職員 5 名
有資格 職員数	看護師 5 名	管理栄養士 1 名
	児童指導員 2 名	調理師 1 名
	保育士 34 名	事務員 3 名
	臨床心理士 2 名	嘱託医 1 名
施設・設備 の概要	（居室数）6 ホーム	（設備等）

④理念・基本方針

法人理念

はぐくむ（愛護）すべての児童は、愛され保護されすべての福祉を受ける権利を保障される
はばたく（自立）すべての児童は、心身ともに健やかに育成され、自立への支援が図られる
ささえる（共生）すべての人々がふれあい支え合って共に生きる地域社会づくりに寄与する

経営方針

- （１） 児童の権利を擁護し、心身の健やかな成長を図るとともに、個々の能力や意思を尊重した支援を提供することにより児童の自立を支援する。
- （２） 国に示した社会的養護推進計画にのっとり、施設の小規模化、多機能化、高機能化を推進する。
- （３） 一時保護やショートステイ等の受け入れ体制の整備に努めるとともに、障害児通所支援事業や児童家庭支援センター事業を通し関係機関との連携を深め、地域における児童の健全育成及び子育て支援に貢献する。

- (4) 児童にとっての最善の利益を優先しつつ、保護者と協力し、家庭環境の改善を支援する。
- (5) 各種研修会等への積極的な参加をととして職員の資質向上を図るとともに、福利厚生の上に努め、働きがいのある明るい職場づくりを目指す。

運営方針

- (1) 幼い命を預かる施設として、細やかな健康観察を通して乳幼児の安全・安心を守ると共に、子どもが権利の主体であることを胸に刻み、懲戒権の乱用はこれを禁止し、子ども一人ひとりの個性と主体性を尊重した養育の実践にあたる。
- (2) 家庭的なホーム生活を通して、子ども達の情緒の安定を図りつつ愛着形成や基本的生活習慣の習得等、心身の健やかな成長を目指した支援を展開する。
- (3) 家庭養護優先の基本理念に基づき、保護者との信頼関係を築きながら、入所児の早期家庭復帰への取り組みを推進すると共に、包括的な里親支援にも取り組む。
- (4) 乳児院の持つ特性や専門性を活かして、関係機関との連携を図りながら各種の子育て支援事業を推進し、地域の子育て支援の拠点としての機能を担う。
- (5) 乳児院の職員は、児童福祉に携わる者としての自覚を持ち、研修等を積み重ねることにより人間性や専門性を高めるように研鑽に努める。

⑤施設の特徴的な取組

- 1) 家庭的な養育体制を3ユニット6ホームで実施。
- 2) 家庭支援専門相談員を中心に親子関係の再構築（育児全般の指導）宿泊面会の実施。
- 3) 育児サロン・お帰りサロン・地域行事への参加等 施設機能の提供
- 4) 里親支援専門相談員による里親支援への積極的な参加

⑥第三者評価の受審状況

評価実施期間（和暦）	令和4年4月27日（契約日） ～ 令和4年12月26日（評価結果確定日）
前回の受審時期 （評価結果確定年度・和暦）	平成30年度

⑦総評

◇特に評価の高い点

- 施設長の養育・支援の質の向上に向けた意欲とその指導力のもと、職員間の連携・連絡が行き渡り、職員が一丸となって業務に専念されている姿勢を感じました。
- 職員個々人の目標設定や新任職員に対するスーパービジョンなど職員育成に対す

- る熱意とともに、職員の定着を目的とした育児休業明けの職員への配慮等ワーク・ライフ・バランスにも配慮されており、職員を大切にする姿勢を感じます。
- 養育・支援の向上に積極的・組織的・計画的に取り組まれており、3年毎に第三者評価を受審され、また第三評価項目に基づく自己評価を毎年実施されておられます。
 - 担当制による愛着形成、養育の個別化、3ユニット6ホーム、適切な職員配置など養育の向上を図る環境や仕組みを整えておられ、またアセスメントに基づく自立支援計画の策定過程において丁寧な検討・協議をされており、保護者アンケートにおける保護者の評価が高いのもうなずけます。
 - ユニット毎に個性的な雰囲気、きれいな環境とおもちゃが豊富に揃えてあり、また職員が明るく積極的に取り組まれており、職員の「普通の家庭だったら」という言葉から、施設長の思いが職員に周知されていることを感じました。

◇改善を求められる点

- 中長期計画に相当する「家庭的養育推進計画」を策定しておられますが、これを整理されて中長期計画として纏められることを期待します。
- 第三者評価や自己評価の結果について、身近な改善は行っておられますが、改善計画を策定して計画的・段階的に取り組む体制には至っていないようです。改善計画を策定され、計画的・段階的に業務改善に取り組まれることを期待します。
- これからの時代、ホームページやSNSなどを活用して、保護者やその他の皆さんに積極的に情報提供することも必要かと思えます。

⑧第三者評価結果に対する施設のコメント

今回4度目の第三者評価受審となりました。

養育の現場で提供している福祉サービスの質について、評価を頂き大変嬉しく思います。今後も、養育の質の向上を図り更なる取り組みに努めてまいります。

一方で、施設の情報提供方法については、これからの時代を意識した発信の在り方や、中長期計画等については専門的かつ客観的な指摘を頂き、これらを踏まえながら職員全体で改善に向けた検討を加え、充実した取り組みに繋げて行きたいと考えております。

⑨第三者評価結果

別紙の「第三者評価結果」に記載している事項について公表する。